

1 募集要項

令和2年度 東京学芸大学附属高等学校 生徒募集要項（帰国生用）

本校は、東京学芸大学附属の全日制課程普通科の高等学校で、中学校における教育の基礎の上に、生徒の心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育を施すとともに、大学と連携し、教育の理論と実践に関わる研究を行い、かつ学生の教育実習の実施に当たることを目的とする。

本校生徒は、男女同数を原則とし、附属中学校はじめ国内外の中学校の出身者などによって編成されている。

本校の教育目標

- 清純な気品の高い人間を育てる。
- 大樹のように大きく伸びる自主的な人間を育てる。
- 世界性の豊かな人間を育てる。

本校の育てたい生徒像

多様な分野でイノベーションを引き起こし、国際社会に貢献する人間

- ① 生涯学習者としての学習に向かう姿勢
生涯にわたり、知的好奇心と学習していく意欲を持ち、自ら学習する「方法」を身につけるとともに、学習によって獲得した力を他者のために活用する意欲に溢れ、挫折をも糧として成長していくタフな人間を育成する。
- ② 適切な情報収集・分析能力と課題発見能力
情報処理に関する基礎的・基本的な知識技能を持つと共に、情報を扱うことに対する適切な倫理観を育成する。さらに、錯綜した複雑な情報の中から重要なものを選び出し自らの目的に沿った課題を発見する力を育成する。
- ③ 柔軟にダイバーシティを受け入れ活用する力
アジアをはじめとした海外の研究機関・大学・高校と連携して、共同研究及び交流を行うことで、グローバル化に対応した、異なった文化・価値観を持つ人々と協働しその多様性を生かしていく柔軟な知性を育成する。そのための英語力をはじめとした豊かなコミュニケーション能力を育てる。

令和元年10月

東京学芸大学附属高等学校

〒154-0002 東京都世田谷区下馬4丁目1番5号
電話 (03) 3421 - 5151 (代表)
メールアドレス kikoku@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp
ホームページ <http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp>

令和2年度 生徒募集要項 (帰国生用)

1. 募集人員 第1学年 男女合わせて15名(ただし、男女ほぼ同数)

2. 出願資格

下記の(1)~(6)の条件をすべて満たすこと。

- (1) 日本国籍を有すること。
- (2) 生年月日が平成17年(2005年)4月1日以前であること。(注1)
- (3) 令和2年3月までに、滞在先の国または地域にある学校に、日本の中学校の学齢期に相当する3年間のうち2年間以上在学し、教育を受けた者であること。
- (4) 出願資格(3)においては、保護者の海外勤務にともない、海外勤務を要する保護者と共に滞在した期間であること。
- (5) 日本に帰国した場合は、帰国後、本校への入学までの期間が1年未満であること。(注2)(注3)
- (6) 以下のいずれかの条件を満たすこと。
 - ① 日本の中学校か中等教育学校前期課程を令和2年3月までに卒業見込み・修了見込みの者。
 - ② 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者、または令和2年3月までに修了見込みの者。(注4)
 - ③ 文部科学大臣が、中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または令和2年3月までに修了見込みの者。
 - ④ 中学校卒業程度認定試験により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者。

(注1) 本校を過去に受験した者で、保護者の海外勤務に同行して海外残留した者は、再度この帰国生入試は受けられません。

(注2) 本学附属国際中等教育学校に帰国生として編入した場合は、この帰国生入試は受けられません。

(注3) 帰国後日本の中学校に編入した場合は、編入の期日が平成31年4月1日以降であること。

(注4) 外国において、学校教育(現地校等)における9年の課程を令和2年4月以降に修了する見込みの者は原則として出願資格がありません。詳細については本校までお問い合わせください。

3. 出願書類等

- (1) ② 入学願書
 - (2) ③ 受験票
- } 一連のものを切り離さないこと。写真は同一のものを貼付すること。

(3) ⑥ 海外生活リポート

(4) ⑦ 海外在留を証明する書類

- ・必ず同封の本校所定の用紙(⑦)にお書きください。保護者の勤務先の代表者の公印またはサインが必要です。
- ・保護者が自営業、または保護者本人が会社代表である場合は、在留先で登記した登記簿のコピーを添付してください。
- ・⑦のみ、本校ホームページからダウンロードすることもできます。その際は必ずA4サイズにプリントアウトしてください。感熱紙は使用しないでください。

(5) **成績を証明する書類**

日本の中学の学齢期に相当する3年間（全学年）分の書類を提出してください。

① 現地校に在籍している期間の成績について

成績証明書（成績および出欠状況が記載されているもの）またはそのコピーを直接持参の上、提出してください。

② 日本人学校に在籍している期間の成績について

本校所定の用紙（**⑤ 調査書**）または各学校の書式による調査書を、厳封のうえ提出してください。

③ 国内中学校に在籍している期間の成績について

本校所定の用紙（**⑤ 調査書**）を、厳封のうえ提出してください。

また、現地校等からの編入の場合は、その期間の成績は空欄になります。

なお、日本人学校から転入した場合は、日本人学校の成績も転記してもらってください。

※各種推薦書、検定・資格等の証明書は必要ありません。

(6) **日本国籍を証明する書類**

パスポートのコピー……日本国籍が記載されているページ（写真のページ）を、A4サイズ
の用紙にコピーして提出してください。

(7) **検定料 9,800円**：入学検定料は次の**ア（銀行窓口で納入）**、**イ（コンビニエンスストアで納入）**のいずれかの方法で納入してください。いずれの場合も納入は、令和元年10月5日（土）から令和2年1月15日（水）までに行ってください。

ア. 「**④ 入学検定料振込依頼書**」により、検定料を**銀行窓口で納入し（銀行収納印が押されていることを確認してください）**、「**入学検定料 B納入済票（提出用）**」を、「**② 入学願書**」の貼付欄に貼付してください。

イ. 別紙「**入学検定料支払方法のご案内**」に記載されたコンビニ端末により、検定料を**コンビニエンスストアで納入し**、「**取扱明細書**」または「**取扱明細書兼領収書**」の「**収納証明書**」部分を切り取り、「**② 入学願書**」の貼付欄に貼付してください。

注意事項

- 1) 一旦納入した検定料は、出願資格の要件を満たさない場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- 2) 出願書類に虚偽の記載があった場合には、合格者発表の後であっても合格を取り消します。
- 3) 出願手続きにともなう個人情報の取り扱いについては p.6 を参照してください。

4. 出願

- (1) 日時 令和2年1月14日（火）午前9時30分から午後3時まで
（ただし、正午から午後1時までは除く）

1月15日（水）午前9時30分から正午まで

受付の際、出願資格の確認を行いますので、お待ちいただく場合もあります。

- (2) 場所 東京学芸大学附属高等学校

※郵送による出願は、受理しません。

- (3) 手続 出願日時に「**3. 出願書類等**」の(1)~(7)の書類を提出し、「**③ 受験票**」を受け取り、受験番号を確認してください。

5. 選抜方法

- (1) 志願者全員に対して、学力検査・グループ面接（本人のみ）を行います。
- (2) 学力検査・面接・提出書類を総合的に判断して、合格者を決定します。

6. 学力検査と面接

(1) 学力検査

- ① 日 時 令和2年2月13日（木）午前9時25分から午後0時45分まで
- ② 集合時刻 午前8時50分（校舎内へは午前8時20分頃より入場開始を予定しています。）
- ③ 検査場 東京学芸大学附属高等学校
- ④ 検査教科 国語・数学・英語（「リスニング問題」を含む）
検査時間は、いずれの教科も50分で、この教科の順序で検査を行う。
配点は各教科100点満点とする。数学以外の教科の解答はマーク方式を含む。
- ⑤ 持ち物 **受験票**・筆記用具（HB程度の濃さの鉛筆等・消しゴム）

注意事項

- 1) 学力検査の開始時刻から20分以上遅刻したときは、受験することはできません。
- 2) 学力検査当日、下敷きと定規を全員に貸し出しますが、筆記用具は必ず持参して下さい。
- 3) 上履きは必要ありません。
- 4) 学力検査の開始から終了までは本校の敷地から外へ出ることはできません。
- 5) 学力検査当日、保護者や付添人の控室は用意しますが、学力検査が行われる校舎には受験生以外は入場できません。

(2) グループ面接（本人のみ）

- ① 実施日 令和2年2月14日（金）
- ② 集合時刻・場所 令和2年2月13日（木）の学力検査終了時に連絡します。
- ③ 持ち物 **受験票**・筆記用具

注意事項

面接の**集合時刻**から20分以上遅刻したときは、受験することはできません。

7. 合格者発表

令和2年2月17日（月）午後3時から午後4時30分まで、東京学芸大学附属高等学校校内に掲示します。

注意事項

- 1) 受験票を必ず持参すること。合格者には受験票で確認のうえ合格証書と入学手続きに関する書類を渡します。
- 2) 受験生本人およびその保護者ではなくても、受験票を持参した代理人には合格証書と入学手続きに関する書類を渡します。ただし、受験生およびその保護者から代理人への受験票の受け渡し等で生じたトラブルについては、本校は一切責任を負いません。
- 3) 可否についての電話等によるお問い合わせには応じません。

8. 入学手続き

合格者発表の際に合格者に配付する書類により、入学確約書(保護者の方の署名・押印が必要です)を本校窓口へ提出し、入学金を銀行窓口で指定の期間内に納入することで、入学手続きが完了します。

手続き期間 令和2年2月17日(月)から2月19日(水)まで

納入額 56,400円

注意事項

- 1) 一旦納入した入学金はいかなる理由があっても返還しません。
- 2) 上記入学金の他に、諸経費があります(別紙「**資料**3年間にかかる経費(概算)」を参照してください)。
- 3) 授業料(前後期分115,200円(昨年度額))については、「公立学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」等が適用されます。これにより高等学校等就学支援金制度の対象となる場合は、納付は不要です。

9. 入学予定者オリエンテーションおよび保護者説明会

令和2年3月8日(日)午後1時から、入学予定者およびその保護者に対して、入学予定者オリエンテーション、ならびに諸手続きに関する保護者説明会を行います。

注意事項

- 1) 合格証書を必ず持参すること。
- 2) 保護者がやむを得ず出席できない場合は、代理人による出席を認めます。
- 3) 正当な理由なく入学予定者本人が来校しない場合は、入学の意志がないものと判断します。

10. 繰り上げ合格

繰り上げ合格を実施する場合は、令和2年2月20日(木)から令和2年3月5日(木)までの間に、入学願書に記載された受験期間中の国内連絡先に本校入試委員会の担当者から直接電話で連絡します。連絡の際に指定された期日までに入学確約書を提出し、入学金を納入することで、合格者となります。(なお、不審な電話がかかってきた場合は本校まで電話でお問い合わせください。)

電話に出られなかった場合は、同じ日に再度連絡をしますが、それでも出られない場合は、繰り上げ合格の対象からはずれません。

11. 入学後の教育

入学後は一般生徒と同じ学級に配属し、高等学校の普通課程の教育を行います。なお、1年次には、帰国生として入学した生徒を対象とする適応指導を行っています。

「入学願書」および「海外生活レポート」の記入について

以下の点に留意して、黒のペンまたはボールペンで記入してください。

1. 入学願書

- (1) 受験番号の欄は記入しないでください。
- (2) 性別は該当するものを○でかこんでください。
- (3) 出身校について
 - ・海外の現地校やインターナショナルスクール等に在学している場合は、出願時において、在籍している学年を記入してください。
 - ・日本の中学校または海外日本人学校に在学している場合は「卒業見込」を○でかこみ、その年月を記入してください。
- (4) 保護者住所について
 - ・志願者の住所と異なる場合のみ記入してください。海外にいる場合は海外の住所を記入してください。
- (5) 受験期間中の国内連絡先について
 - ・出願日以降、繰り上げ合格の最終期日(令和2年3月5日)までの間の連絡先を記入してください。
 - ・保護者が国内にいる場合は、自宅、滞在中の親戚・知人宅、ホテル等の名前と電話番号、または保護者の携帯電話番号を記入してください。
 - ・保護者が海外にいる場合は、国内にいる保護者代理人の氏名(志願者との関係)、住所、電話番号を記入してください。
- (6) 写真は受験票と同一のものを貼付してください。

2. 海外生活レポート

- (1) 表面は保護者に記入してもらっても結構ですが、裏面は必ず志願者本人が記入してください。
- (2) 受験番号の欄は記入しないでください。
- (3) 受験期間中の国内連絡先については、入学願書と同様に記入してください。
- (4) 「就学歴」について
 - ア) 海外における就学(小学校以上)から書き始めてください。
 - イ) 日本に戻った場合は、中学校に就学した場合のみ書いてください(日本の小学校就学については記入不要です)。
 - ウ) 滞在地が同じでも、編入学や上級学校への進学等、学校をかわった場合はそれぞれについて欄を分けて記入し、最後は令和2年3月の時点での在籍校になるようにしてください。
 - エ) 海外の学校での在学期間は、その学校に在籍していれば夏休み等長期の休みも含めて「9月～8月」のように記入してください。
 - オ) 欄内に書ききれない場合は、別紙に記入して添付してください。
- (5) 「滞在地」欄には、海外での住まいの場所(国または地域名、および都市名)を記入してください。

生徒募集にともなう個人情報の取り扱いについて

本校において個人情報は国立大学法人東京学芸大学の規程にのっとり取り扱われております。

つきましては、令和2年度の生徒募集にともなう個人情報の取り扱いを下記の要領で行います。

記

- (1) 個人情報とは、ある情報を見たときに特定の個人が識別できる情報だとわかる情報を言います。令和2年度の募集において、本校は以下の個人情報を収集します。

- ① 応募書類… ② 入学願書、③ 受験票、入学検定料 B 納入済票、⑤ 調査書、
⑥ 海外生活レポート、⑦ 海外在留を証明する書類、その他
② 答案

- (2) 収集した個人情報は募集業務以外の目的には利用しません。ただし合格者の個人情報に関しては、入学者名簿等へ内部転用いたします。
- (3) 収集した個人情報は国立大学法人東京学芸大学の規程に従い保管し、廃棄いたします。
- (4) 収集した個人情報を外部に提供することはいたしません。
- (5) 出願者は、以上の個人情報の収集と利用に関して、入学願書提出の事実をもって同意したものとみなします。

以上

出願資格等についてご質問がありましたら、本校の帰国生・留学生委員会にお問い合わせください。

電話番号 (03) 3421-5151 (代表)

メールアドレス kikoku@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp

緊急時の対応等について

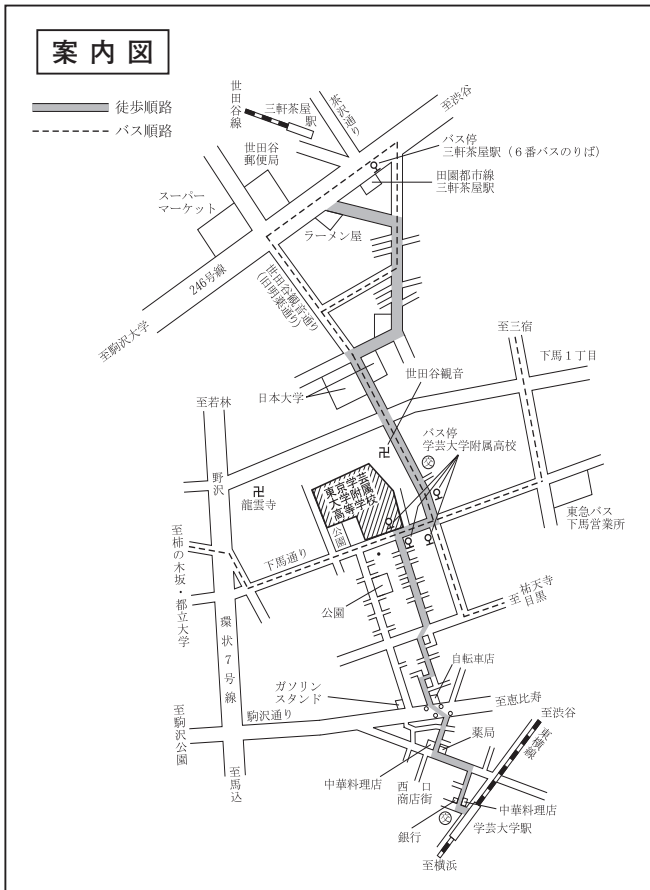
1. 緊急時の対応等について

天候およびその他の事情により、学力検査（2月13日（木））、面接（2月14日（金））、合格者発表（2月17日（月））において実施日や開始時刻の変更等が生じた場合は、下記の方法にてお知らせいたします。

- ① 本校ホームページ <http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp>
- ② テレドームシステムによる音声案内
（学力検査 2月13日（木）、面接 2月14日（金）、合格者発表 2月17日（月）のみ）
電話番号 0180-99-3636
* 番号のお間違えがないように気をつけてください。

2. 追試験について

本校ではインフルエンザ等にもなう学力検査の追試験は行いません。



（電車）

東 急 東 横 線 学芸大学駅 下車 徒歩15分
東急田園都市線 三軒茶屋駅 下車 徒歩20分

（バス）

東 急 バ ス { 渋谷駅西口バスのりば
 (渋32) 「野沢龍雲寺循環」
 (渋34) 「東京医療センター」行き
三軒茶屋駅6番バスのりば
 (黒06) 「目黒駅前」行き
「学芸大学附属高校」下車

出願用書類 内容物

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 募集要項 ② 入学願書 ③ 受験票 ④ 入学検定料振込依頼書 | <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 調査書 ⑥ 海外生活リポート ⑦ 海外在留を証明する書類 資料 3年間にかかる経費（概算） ◎入学検定料支払方法のご案内 |
|---|--|